

2022年3月29日

住友生命保険相互会社

欧州投資銀行が発行する クライメイト・アウェアネス・ボンドへの投資

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、欧州投資銀行が発行する、気候変動の緩和を目的とするクライメイト・アウェアネス・ボンド（Climate Awareness Bonds、以下、「本債券」）への投資（約170億円）を決定しました。

欧州投資銀行はEU加盟国の出資により設立された世界最大級の多国間金融機関です。EU域内外あわせて約160か国で事業を展開しており、気候変動対策や経済発展、技術革新、中小企業の支援等を優先的に取り組む分野として融資や保証業務等を行っています。



©EIB / ESB

本債券は、欧州投資銀行がEUにおけるサステナブルファイナンスに関する法令等に沿って策定した、クライメイト・アウェアネス・ボンド・フレームワークに基づいており、調達した資金は、気候変動を緩和するプロジェクトに充当される予定です。例えば、再生可能エネルギーの拡大やエネルギー効率向上、鉄道やバスの電動化等の活動に向けて資金を供給し、持続可能な社会やその実現のため技術や製品の開発に貢献します。

【本債券の概要】

発行体	欧州投資銀行
投資金額	200百万豪ドル（約170億円）
期間	10年

住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じたSDGsの達成に向けた取組みを進めています。今後も、責任投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



以上